

| テーマ  |
|--|
| ロシア語圏へ行ったつもりで旅行体験報告をしよう！   |
| プロジェクト全体目標   |
| 学習レベル 1～2<br>K 大学が提供する短期語学研修・交換留学プログラム、および学外のプログラムを通して訪問できるロシア語圏の地域について、観光名所、気候、文化、食べ物、おみやげなど、様々な観点から理解を深める。それらの地域への短期旅行プランを作成し、行ったつもりで旅行体験報告を口頭で行うことができる。<br>(※評価対象にはならないが、付加効果として：旅行プランの作成および旅行体験報告を通して、自分がそれらの地域を訪問するイメージを具体的に描くことによって、将来的な短期語学研修への参加や長期留学へのモチベーション向上につなげる。)  |
| コミュニケーション能力指標  |
| 交通と旅行 1-a. 自分の行きたい場所を、口頭でまたは書いて伝えることができる。<br>交通と旅行 2-c. 目的地までの交通機関、ルート（乗降駅、乗換駅など）について、尋ねたり、口頭でまたは書いて教えたりできる。<br>交通と旅行 2-j. 旅行の簡単な日程表を作って、相手に知らせることができる。<br>地域社会と世界 1-e. 自分の（*相手の）住んでいる町や都市の、有名な場所や食べ物などを、言うことができる。<br>地域社会と世界 2-c. 相手の国の首都や主な都市の地図上の位置を、言うことができる。  |
| 学習シナリオ   |
| 〈場面状況〉<br>K 大学のロシア語履修者の一部は、2014～2015 年にかけて学内外のプログラムに参加し、それぞれロシア語圏の様々な地域（ロシアのモスクワ、ハバロフスク、アストラハン、キルギスのビシュケクおよびその他の地域）を訪問した。その報告会として、2015 年秋に「第 2 回ロシア語圏留学トークイベント」を開催することになった。トークイベントに聴衆として参加した S 学部 2 年生のクラスでは、上記のロシア語圏の各地域で一週間のグループ旅行をしてきたつもりで、現地での体験についてロシア語で口頭発表することになった。<br>〈活動の流れ〉<br>「第 2 回ロシア語圏留学トークイベント」に参加し、各地域に関する予備的な情報を得るとともに、短期語学研修や長期留学を通して得られる経験について学ぶ。<br>クラスを 4 つのグループに分け、担当する国・地域を決定する。最終的な口頭発表の内容・構成・方法について学生に伝える。各自ガイドブックやインターネットを用いて、担当する国・地域に関する情報を収集する。<br>発表で用いるロシア語表現を学び（○○はここです、○○まで××で行きました等）、各グループで役割分担の上、互いに協力しながら発表原稿を作成する。パワーポイントを用いて、発表用のスライドを作成する。<br>各グループの旅行体験について口頭発表する。学生同士でフィードバックを行う（一番行ってみたい地域への投票）。発表会にはロシア語圏への留学経験者や他のロシア語教員にも参加してもらい、コメントをもらう。また、グループ発表で取り上げられなかった点を中心に、現地に関する補足情報を提供してもらう。<br>口頭発表の様子をビデオ・写真撮影し、K 大学ロシア語講座 Facebook ページで公開する（公開は写真のみ）。 |

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015\_実践課題

作成者：小田桐奈美/関西大学外国語学部助教（ロシア語）

学習項目と3×3+3との対応

|      | 言語領域  | 文化領域   | グローバル社会領域   |
|------|---|--|---|
| わかる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>発表のためのロシア語表現を理解する。</li> <li>他のグループのロシア語による発表を聞き、内容を理解する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア語圏滞在経験者による、現地での体験報告を聞く。</li> <li>担当地域の観光名所、気候、文化、食べ物、おみやげ等について理解を深める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ロシア語圏滞在経験者の体験報告を通して、学生時代に短期・長期留学を経験することによって得られる能力や経験（異文化理解、問題解決能力など）について理解を深める。</li> <li>一つの国内および一つの言語圏内でも、言語（方言）や文化の観点から多様性が見られることを理解する。</li> </ul> |
| できる  | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学習した発表のためのロシア語表現を基に、各自ロシア語による発表原稿を作成し、発表する。</li> <li>他のグループのロシア語による発表を聞き、内容を評価する。</li> <li>発表スライドの作成時に、ロシア文字を入力する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの発表を聞き、ロシア国内およびロシア語圏内の共通点や相違点を分析する。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>グループ内で役割分担し、1つの発表を作り上げるために積極的に活動する（協働）。</li> <li>ガイドブックやインターネットを活用してロシア語圏に関する情報収集を行う。パワーポイントを用いて発表スライドを作成する（情報活用）。</li> </ul>                        |
| つながる | <ul style="list-style-type: none"> <li>苦手な部分を補い合い、互いに協力しながらロシア語による発表原稿を作成し、グループメンバーとしての関係をつくり上げていく。</li> </ul>  |  |   |
| 三連携  | <p>連携1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発表スライドの作成にあたっては、イラストやデザインなど、それぞれの得意な分野を活かす。</li> <li>ロシア語圏を訪問するイメージを具体的に描くことによって、将来的な短期語学研修への参加や長期留学へのモチベーション向上につなげる。</li> </ul> <p>連携2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の既習内容（語彙・文法）</li> <li>発表言語を超えて共通する、プレゼンテーションの構造や技法を学ぶ。</li> <li>他の地域への旅行・留学経験を活かしながら、ロシア語圏についての情報収集を行う。</li> </ul> <p>連携3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学内の他学部・他学年のロシア語学習者と交流する。</li> <li>SNSを用い、学外の人にプロジェクトについて紹介する。</li> </ul> |  |   |

#### ◆総括的評価のポイント

ロシア語圏への旅行体験についての口頭発表

##### ①グループ

- ・発表内容：豊富な資料に基づき、必要な内容が盛り込まれているか。
- ・スライド：写真など、スライドのデザインに工夫が見られるか、1スライドあたりの文字量は適切か。
- ・役割分担・協力：各メンバーが等しく活躍しているか、1つの発表としてまとまっているか。

##### ②個人

- ・ロシア語の表現：授業で学んだ表現を活用しているか。
- ・ロシア語の理解しやすさ：発音・語彙・文法は正確か、言いたいことが理解できるか。
- ・アイコンタクト：原稿に頼らず、聴衆とアイコンタクトを取っているか。

##### ③その他

- ・制限時間を守っているか。
- ・クラスでの投票により、「一番行ってみたいくなった発表」に選ばれた場合はプラス3点。

#### ◆総括的評価のための提出物・成果物

- ・口頭発表の映像
- ・ロシア語の発表原稿
- ・パワーポイントのスライド

#### ◆総括的評価のための活動の指示文

##### ○指示文1（グループ分け・担当地域の決定時）

このプロジェクトでは、ロシア語圏で一週間のグループ旅行をしてきたつもりで、現地での体験についてロシア語で報告してもらいます。

- ・モスクワ、アストラハン、ハバロフスク、キルギスのいずれかを選んで下さい。その周辺都市・地域を含めても構いません。
- ・パワーポイント（またはそれに準ずるソフト）を用い、5分以上8分未満で発表して下さい。
- ・発表に盛り込むべき内容の詳細や、発表で用いるロシア語表現については、次回説明します。

##### ○指示文2（発表準備の開始時）

これから、みなさんに配布した「発表準備シート」と「発表のためのロシア語表現集」を活用しながら、発表の準備を進めていきます。

発表に求められる最低限の内容は以下のとおりです。

- ・はじめに：自己紹介、発表開始の表現
- ・担当する国・地域の地図上の位置

- ・渡航ルート
  - ・何曜日どこに行き、何をしたか（+その場所についての簡単な説明）
  - ・何曜日に何を食べたか・飲んだか（+その食べ物・飲み物についての簡単な説明）
  - ・最終日にどのようなおみやげを買ったか（+おみやげについての簡単な説明）
  - ・おわりに：旅行の感想、発表終了の表現
- なお、自主的にこれ以外の内容を盛り込んだ場合、高く評価します。

発表は、みなさんに配布した「評価シート」を基に、グループでは発表内容、スライド、役割分担・協力の観点から、個人ではロシア語の表現、ロシア語の理解しやすさ、アイコンタクトの観点から評価します。

その他、制限時間を守っているかも評価の対象になります。また、クラスでの投票により、「一番行ってみたいとなった発表」に選ばれた場合は、ボーナスとして3点加えます。

ロシア語による原稿の作成にあたっては、グループのメンバーと互いに苦手な部分を補いながら、協力して取り組んで下さい。

#### ◆学習者の個人的特性への対応

グループを決定する際は、春学期の行事（学内ロシア語コンクール）ですでに活動経験のあるグループを基にすることにより、グループ活動が苦手な学生もスムーズに発表準備を開始できるよう配慮した。

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015\_実践課題  
 作成者：小田桐奈美/関西大学外国語学部助教（ロシア語）  
 総括的評価のためのルーブリック

| 評価基準 |                 | 目標以上に達成（4点）  | 目標を達成（3点）                              | 目標達成まであと少し（2点）                           | 目標達成まで努力が必要（1点）                           |
|------|-----------------|--|--|--|---|
| グループ | 発表内容（×2）        | 豊富な資料に基づき、必要な内容以上の情報が盛り込まれている。   | 豊富な資料に基づき、必要な内容をカバーしている。               | 必要な内容を概ねカバーしているが、参照資料が少ない。               | 必要な内容をほとんどカバーしておらず、資料もほとんど参照していない。        |
|      | スライド            | 写真など、スライドのデザインに工夫が見られ、見ていて楽しく、1スライドあたりの文字量も適切。   | 写真など、スライドのデザインに工夫が見られ、1スライドあたりの文字量も適切。 | 写真など、スライドのデザインに工夫が見られるが、1スライドあたりの文字量が多い。 | 写真など、スライドのデザインに全く工夫が見られず、1スライドあたりの文字量も多い。 |
|      | 役割分担・協力         | 各メンバーが等しく活躍し、それぞれの発表が完全につながっており、1つのグループ発表としてまとまっている。   | 各メンバーがほぼ等しく活躍し、それぞれの発表がうまくつながっている。     | 各メンバーの役割分担に偏りが見られ、それぞれの発表がつながっていない部分が多い。 | 各メンバーの役割分担に著しい偏りが見られ、それぞれの発表が全くつながっていない。  |
| 個人   | ロシア語の表現（×2）     | 授業で学んだ以上の豊かなロシア語表現を用いている。  | 授業で学んだ表現を完全に用いている。                     | 授業で学んだ表現を概ね用いている。                        | 授業で学んだ表現がほとんど用いられていない。                    |
|      | ロシア語の理解しやすさ（×2） | 発音、語彙、文法がほぼ正確で、言いたいことが完全に理解できる。  | 発音、語彙、文法に不正確な部分が多少見られるが、ほとんど理解できる。     | 発音、語彙、文法が不正確の部分があり、時々理解できないことがある。        | 発音、語彙、文法が不正確の部分が多く、理解できないことが多い。           |
|      | アイコンタクト         | 原稿を見ることなく、聴衆と常にアイコンタクトを取っている。  | 原稿を見ることなく、聴衆とほぼ常にアイコンタクトを取っている。        | ほとんど原稿に頼っており、アイコンタクトは時々しか取っていない。         | 常に原稿に頼っており、聴衆と全くアイコンタクトを取っていない。           |
| その他  |                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・5分に満たない場合または8分以上の場合は、マイナス3点</li> <li>・クラスでの投票により、「一番行ってみたいくなった発表」に選ばれた場合は、プラス3点</li> </ul> |  |  |   |

「外国語学習のめやす」マスター研修 2015\_実践課題  
 作成者：小田桐奈美/関西大学外国語学部助教（ロシア語）

目標分解表

| 個々のタスク   | 小目標  | 中目標   | 大目標   |
|--|--|---|---|
| ロシア語圏滞在経験者の発表を聞く（ロシアのハバロフスク、モスクワ、アストラハン、およびキルギス共和国）。   | ロシア語圏の各地域や、短期語学研修や長期留学を通して得られる経験について情報を得る。               | 「第2回ロシア語圏留学トークイベント」に参加し、ロシア語圏の各地域に関する予備的な情報を得るとともに、短期語学研修や長期留学を通して得られる経験について学ぶ。 | K 大学が提供する短期語学研修・交換留学プログラム、および学外のプログラムを通して訪問できるロシア語圏の地域について、観光名所、気候、文化、食べ物、おみやげなど、様々な観点から理解を深める。それらの地域への短期旅行プランを作成し、行ったつもりで旅行体験報告を口頭で行うことができる。 |
| さらに知りたい点について、発表者に質問する。   |  |   |   |
| 「発表聴講シート」に記入する（留学（研修）先の大学（機関）名・期間、プログラムの提供・幹旋先、プログラムの内容、現地の様子（訪問した場所、食べ物など）、プログラムへの参加前後で、自身にどのような変化が見られたか（語学力、ロシア語学習動機など）、その他） |  |   |   |
| トークイベント全体の感想をまとめ、「発表聴講シート」に記入する。   | トークイベントで得た情報をまとめ、自身の発表に備える。                              |   |   |
| グループ分けをする。   | グループで役割分担をしながらロシア語圏の情報を収集する。                             | ロシア語による口頭発表の準備をする。  |   |
| 各グループの担当地域を決定する。   |  |   |   |
| ガイドブックやインターネットを用いて担当地域の情報を集める。   |  |   |   |
| 「発表準備シート」を活用しながら、各メンバーの担当箇所を決定する。  | 自分の担当箇所のロシア語原稿を作成する。                                     | ロシア語による口頭発表の準備をする。  |   |
| 「発表のためのロシア語表現集」を配布し、クラス全体で練習する。  |  |   |   |
| 「発表のためのロシア語表現集」と、教科書の既習箇所との関連性を理解する。   |  |   |   |
| 「発表のためのロシア語表現集」を活用し、グループのメンバーと協力しながら、自分の担当箇所の原稿を作成する。  | 【形成的評価】原稿を適宜教員に提出して中間チェックを受け、修正する。                       | ロシア語で口頭発表し、クラスメートやロシア語圏滞在経験者と相互にフィードバックする。                                      |   |
| グループで1つの発表としてまとまるよう、発表の内容を調整する。  |  |   |   |
| 写真などを活用しながら、発表のスライドを作成する。  |  |   |   |
| ロシア語で口頭発表する。   | 自らロシア語で口頭発表するとともに、他のグループの発表を聞いたり、ロシア語圏滞在経験者からコメントを得たりする。 | ロシア語で口頭発表し、クラスメートやロシア語圏滞在経験者と相互にフィードバックする。                                      |   |
| 他のグループの発表を聞き、ロシア語による発表内容を理解する。   |  |   |   |
| クラスメートやロシア語圏滞在経験者から発表に対するコメントをもらう。   |  |   |   |
| 各自「自己評価シート」（総括的評価のためのルーブリックと同じ内容）に記入し、提出する。  | これまでの活動全体を振り返る。  | ロシア語で口頭発表し、クラスメートやロシア語圏滞在経験者と相互にフィードバックする。                                      |   |
| 「一番行ってみたいくなった発表」に投票する。   |  |   |   |
| 「一番行ってみたいくなった発表」に選ばれたグループを表彰する。  |  |   |   |
| 【総括的評価】ロシア語圏への旅行体験について口頭発表する。あわせて最終原稿と発表スライドを提出する。   |  |   |   |